

## ■ 第52回火災科学セミナーの開催について ■

主 催 (公社)日本火災学会  
後 援 全国消防長会  
東京消防庁  
名古屋市消防局

今後更に高齢化が進展する中で、バリアフリー新法が施行され、建築物のバリアフリー化が図られ、高齢者や障害者の社会進出が容易になる一方、大都市部では、高層階に保育所を設置するなど、災害時に自力で避難が困難な方や歩行速度が著しく遅い方の安全性が危惧されています。

また、中央新幹線や太陽光発電システムなどの新たな科学技術の開発により、生活の利便性を飛躍的に向上する状況にあり、有事の際の安全性の確保は重要な課題であります。

このような状況を踏まえ、日本火災学会では、今年度も東京と名古屋において、それぞれの開催地の地域性を踏まえた火災安全対策に関するテーマに対して、火災科学、技術面からみた問題点、今後の課題などについて、有識者による講演をお願いし、下記のとおり「火災科学セミナー」を開催することにいたしました。

つきましては、会員の方はもとより、消防関係者、一般の方々にも多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

### 記

- 東日本会場 :日時 平成25年10月4日(金) 13時00分から  
(東京) 場所 「TFTビル東館9階906研修室」(東京都江東区有明3-6-11)  
ゆりかもめ「国際展示場正門駅」徒歩1分  
※「東京国際消防防災展2013」同時開催
- 中部・西日本会場:日時 平成25年11月1日(金) 13時00分から  
(名古屋) 場所 「中区役所ホール」(愛知県名古屋市中区栄4-1-8)  
地下鉄東山線・名城線「栄駅」徒歩3分

● 東京会場 10月4日(金) (定員 350名)			● 名古屋会場 11月1日(金) (定員 350名)		
[主題] 歩行困難者(高齢者・障害者・幼児等)の避難安全			[主題] 新たな科学技術に係る安全対策		
時間	テーマ	講師	時間	テーマ	講師
13:05 ～ 14:10	中高層建築物における歩行困難者を含む ～ 避難対策	早稲田大学 佐野 友紀	13:05 ～ 14:10	中央新幹線計画の概要について ～ 東海旅客鉄道株式会社	後藤 康之
14:25 ～ 15:30	病院での避難安全を考慮した建築設計 ～ 清水建設株式会社技術研究所	野竹 宏彰	14:25 ～ 15:30	消防防災におけるロボット技術の活用 現状と ～ 課題	消防庁消防研究センター 天野 久徳
15:45 ～ 16:50	乳幼児の避難行動特性と避難安全計画 ～ 一般財団法人日本建築センター	古川 容子	15:45 ～ 16:50	太陽光発電システムを設置した住宅の火災と ～ 消防活動上の問題点	消防庁消防研究センター 田村 裕之

参加料: 会員(賛助会員及び後援団体職員を含む。)及び消防職員 2,000円  
一般(非会員) 4,000円

※ 東京、名古屋の各会場ともテキスト代を含みます。

申込方法: 参加料の納入をもって申込受付とします。(ただし、定員になり次第締切りとなります。)

1 郵便振込の場合(郵便振込「振込取扱票」のご利用をお願いします。)

振替口座番号 00180-4-58454 (公社)日本火災学会

払込取扱票の通信欄に参加会場名・勤務先名を記入してください。また、払込人住所氏名欄には参加者氏名・連絡先住所(電話・FAX番号)を記入してください。

2 現金書留の場合

所要事項(氏名、事業所名、連絡先住所(電話・FAX番号))を記載し、送金してください。

申込みを受け付け次第、受講票をお送りしますので、当日、受付にご提示ください。

申込先: 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

(公社)日本火災学会 Tel:03-3813-8308 Fax:03-5689-3577 E-mail:kasai50@sepia.ocn.ne.jp